

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、持続的な成長及び長期的な企業価値向上を図るために、取締役会全体の実効性についての評価・分析を実施いたしましたので、その結果の概要は以下のとおりです。

記

1. 評価対象期間

2025 年 4 月 ～ 2026 年 3 月

2. 評価の方法

当社の取締役（監査等委員である取締役を含む。）に対し、各設問に対する 5 段階評価及び自由記載によるアンケートを無記名方式にて実施し、その集計・分析に基づき取締役会にて審議を行いました。

なお、アンケート結果の匿名性、評価・分析の客観性を担保するため、第三者機関に集計・分析を委託しております。

アンケートの項目は以下のとおりです。

- （１）取締役会の役割・機能
- （２）取締役会の構成・規模
- （３）取締役会の運営
- （４）内部統制等の整備
- （５）社外取締役との関係
- （６）株主・投資家との関係

3. 評価結果の概要と実効性向上に向けた取組み

評価の結果、取締役会の社内外比率や知識・経験・スキルのバランスは適切に確保されており、取締役会の審議内容・開催時間は十分であり、かつ活発な議論がなされていると評価されていることから、当社の取締役会の実効性は総じて確保されているものと判断されました。

一方で、当社取締役会の課題に関しては、中長期的な目線での当社グループのサステナビリティや事業ポートフォリオ、サクセッションプランなどの人的資本への取り組み等に関する議論を深めること、かつそのためには取締役会における審議内容のさらなる絞り込みと他の経営会議体への適切な委譲を進めるほか、社外取締役に対する会社理解の促進のため、取締役会以外のインフォーマルな場をも含めた対話機会の充実について、取り組む必要があることが認識されました。

当社取締役会としましては、実効性評価を通じて認識された課題について、アクションプランを定めて着実に実施していくことで、実効性の向上に引き続き取り組んでまいります。

以 上